

CASBEE® 広島

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島駅事務所1号	階数	地上10
建設地	広島県広島市東区上大須賀町349番	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	700人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年5月 予定	評価の実施日	2018年12月11日
敷地面積	3,897 m ²	作成者	苗村 伸雷
建築面積	2,050 m ²	確認日	2018年12月18日
延床面積	15,491 m ²	確認者	宮石 雅之



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 76% (138 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 76% (138 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 76% (138 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境 (スコア=2.6)

音環境	3.6
温熱環境	2.0
光・視環境	2.1
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能 (スコア=3.5)

機能性	3.4
耐用性	3.6
対応性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内) (スコア=2.1)

生物環境	2.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.5

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー (スコア=3.8)

建物外皮の	4.9
自然エネ	3.0
設備インステ	3.9
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル (スコア=3.4)

水資源	3.5
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 (スコア=3.2)

地球温暖化	3.9
地域環境	2.5
周辺環境	3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 2.1	スコア = 3.4
設計の計画上特段に配慮した事項 窓ガラスにはLow-Eの複層ガラスを採用し、建物の熱負荷抑制に努めている。//照明はLEDを採用し、高効率機器を選定している。//外壁タイル・ビニル床タイルはリサイクル材の建材や、再利用できるユニット部材(OAフロア)を採用することで、資源の保全に努めている。//高効率機器を採用することでBELm値を抑え、CO2排出率の評価向上に繋がるよう努めている。	設計の計画上特段に配慮した事項 /周辺道路の渋滞緩和に寄与している。	設計の計画上特段に配慮した事項 ダクトは設置環境に応じた材質選を行い、耐用年数の向上に努めている。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される